

はにつち II

はにつち セカンド

最終号（令和3年3月） 加東市立杜中学校 学校だより

学校評価に関する「保護者アンケート」結果を報告します。

申し訳ありません。今回は文字だらけになってしまいました。（´；ω；`）ウゥ

この1月に、「学校評価に関するアンケート」について保護者の皆様にご協力いただいております。遅くなりましたが、その結果をご報告します。年度間の比較がしやすいよう、ここ数年は質問内容や評価基準を固定して実施してきました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために教育活動が大幅に変更となった本年度では、「回答しにくい」質問がいくつかあったことと思います。ご容赦ください。

結果については右表のとおりです。数値だけを見ますと、「年々順調に伸びているもの」、「昨年同様のもの」、「昨年より低いが一昨年より高いもの」に大別されます。正直に申し上げますと、学校全体では「3年間で最も低いもの」が1つも無かったことにほっとしています。1年生で「②家庭学習」と「⑤学校行事」の数値が低いことと、「⑯地域の関心」の数値が高いことは、コロナの影響が大きかったのでしょう。また、3年生で「④教職員の対応」、「⑦ルールの指導」、「⑧学校が楽しい」の数値は、いずれも3.3を超える高いものでした。

本年度は、紙ベースだけでなく、タブレットやスマホからでもアンケートにご協力いただけるようにしました。回答いただいた方の約7割がWEBを利用されました。文章によるコメントも、例年より多くいただいています。教職員の苦勞をねぎらっていただいたり、感謝していただいたりするコメントが驚くほど多くありました。教職員も人間です。コメント一つで、とてつもなく大きな力が湧いてきます。「また頑張ろう」というエネルギーになります。ありがとうございました。

一方で、貴重なご意見もいただいています。裏面以外にもたくさんあります。その全てをご紹介できませんが、一つひとつに真摯に対応してまいります。

そのような中、保護者の皆様に、ぜひお願いしたいことがあります。それは、どんな時でも「学校と保護者は共に協力する立場にある」と思っただきたいということ。決して、「学校は教育サービスを提供する部署」であり「保護者はそれを消費する人」という関係ではありません。今年ではありませんが、以前、学校オープン後の保護者アンケートに「学級懇談会に参加者が少ない 参加者を増やそうとする学校の工夫が足りない」というものがありました。「参加する・しないは保護者の自由 学校の怠慢が原因」と、学校をイベント会社と同様にお考えなのかと驚いたことを思い出します。ご意見はいつでもお伺いします。でもそれは、「保護者と学校の共同作業に資するため」のものであって欲しいのです。

この「保護者アンケート」に「教職員による学校評価」を添えて、3月半ばに本校学校評議員の皆さんに総括として「学校関係者評価」をいただいたところです。市教育委員会に報告するとともに、本校ホームページで公表しました。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度 保護者アンケート結果

	項目	年度	1年	2年	3年	平均
1	子どもは、「学校の授業がわかりやすい」と言っている。	平成30年度	2.5	2.6	2.7	2.6
		令和元年度	2.8	2.9	2.9	2.9
		令和2年度	2.84	2.94	2.97	2.92
2	子どもは、意欲的に家庭学習に取り組んでいる。	平成30年度	2.5	2.4	2.7	2.5
		令和元年度	2.6	2.8	2.9	2.8
		令和2年度	2.31	2.63	2.89	2.61
3	子どもは、自分の考え・意見を、伝えることができるようになった。	平成30年度	2.7	2.9	3.2	2.9
		令和元年度	3.1	3.0	3.1	3.1
		令和2年度	2.88	3.09	3.05	3.01
4	教職員は、子ども理解に努め、何事にも真剣に対応している。	平成30年度	2.9	2.9	3.0	2.9
		令和元年度	3.2	3.1	3.2	3.2
		令和2年度	3.17	3.10	3.41	3.23
5	学校は、子どもが満足感や成就感を味わえる学校行事を行っている。	平成30年度	2.9	2.8	3.1	2.9
		令和元年度	3.2	3.2	3.1	3.1
		令和2年度	2.72	2.85	3.22	2.93
6	部活動は、子どもの自主的な活動が行われている。	平成30年度	3.0	2.8	2.7	2.8
		令和元年度	3.1	3.1	3.1	3.1
		令和2年度	3.17	3.08	3.15	3.14
7	教職員は、社会のルールや学校のルールについてきちんと指導している。	平成30年度	3.0	3.0	3.0	3.0
		令和元年度	3.2	3.2	3.2	3.2
		令和2年度	3.18	3.10	3.34	3.21
8	子どもは、「学級での生活が楽しい」と言っている。	平成30年度	3.1	3.1	3.4	3.2
		令和元年度	3.3	3.1	3.3	3.2
		令和2年度	3.19	3.28	3.38	3.29
9	子どもは、明るくあいさつを交わしている。	平成30年度	2.9	2.9	3.2	3.0
		令和元年度	3.2	3.0	3.1	3.1
		令和2年度	3.11	3.18	3.22	3.17
10	学校は、保護者や地域と連携をとって教育活動を進めている。	平成30年度	2.8	2.8	2.8	2.8
		令和元年度	2.9	3.0	3.0	3.0
		令和2年度	2.98	2.94	3.05	2.99
11	学校は、教育方針や内容について、ホームページやたより等で情報の提供を行っている。	平成30年度	3.0	2.9	2.9	2.9
		令和元年度	3.1	3.1	3.2	3.1
		令和2年度	2.98	2.94	3.05	2.99
12	通信簿は、子どもの学力や学校生活の様子をよく伝えている。	平成30年度	3.0	2.9	3.0	2.94
		令和元年度	3.2	3.3	3.2	3.2
		令和2年度	3.22	3.21	3.29	3.24
13	学校は、子どもの人権を大切にした指導を行っている。	平成30年度	2.8	2.9	2.9	2.9
		令和元年度	3.1	3.1	3.1	3.1
		令和2年度	3.10	3.05	3.26	3.14
14	学校は、環境美化に努めている。	平成30年度	3.1	3.0	3.0	3.1
		令和元年度	3.2	3.2	3.1	3.2
		令和2年度	3.12	3.14	3.29	3.18
15	学校は、教室や校内の設備を整えている。	平成30年度	3.1	3.1	3.0	3.1
		令和元年度	3.2	3.3	3.2	3.2
		令和2年度	3.18	3.19	3.27	3.21
16	学校は、校内や通学路の危険箇所などへ配慮を行っている。	平成30年度	2.9	2.8	2.8	2.8
		令和元年度	2.9	3.0	3.0	3.0
		令和2年度	3.02	3.01	3.10	3.04
17	家庭では、子どものしつけや基本的な生活習慣に注意を払って育てている。	平成30年度	3.1	3.0	3.1	3.1
		令和元年度	3.1	3.1	3.2	3.1
		令和2年度	3.01	3.10	3.14	3.08
18	家庭では、子どもにしっかりと模範を示している。	平成30年度	2.9	2.9	2.9	2.9
		令和元年度	2.9	2.9	2.9	2.9
		令和2年度	2.80	2.92	2.93	2.88
19	地域の人々は、地域の子どもたちに関心をもっている。	平成30年度	2.0	2.7	2.8	2.5
		令和元年度	2.2	2.8	2.9	2.6
		令和2年度	2.78	2.74	2.97	2.83

数値は項目ごとに、「とても思う」：4 「思う」：3 「あまり思わない」：2 「思わない」：1 で算出

学校への意見・要望(記述式でお答えいただいたもの)とその回答

紙面の都合で、頂いた全てのご意見・要望にはお答えできていません。また、原文ではなく要点を整理して記載している場合があります。ご了承ください。

○ものすごく長い時間部活動をしている部がある。なぜ許されるのか。

→本校の「部活動指導方針」では、一日の練習時間は平日 2 時間程度、休日 3 時間程度となっています。ただし、練習試合や部活動の特性によって止むを得ない等の場合もあることから、活動時間が週 16 時間を超えないことを条件に、休日の練習時間が一日 3 時間を超えることが認められています。

○朝の部活がある場合、運動部は体操服で登校できるようにしてほしい。

→冬場の下校時刻が早い時期、体操服から制服に着替えて下校していると活動時間があまりにも短くなってしまう現実がありました。そこで本年度、「体操服での下校を認めてほしい」旨生徒から要望があり、生徒会で検討しました。その際教職員側から「登校時も見直す必要は無いか」と生徒会に提案しました。生徒会で検討した結果、「時間の無い下校時はともかく、登校時は社中学校生としてのけじめを保ちたい」という意見が多くあり、従来通り「登校は制服で」となっています。

○スマホを持たせていない生徒に、スマホについて厳しい指導があるのはなぜか。

→今持っていなくても、人のスマホを借りて使用することがあるようです。また、いずれはスマホを持つことが予想されます。スマホの使い方については、本来、各ご家庭で指導いただく事項です。しかし残念ながら、保護者がお気づきにならないところで生徒が不適切な使い方をしていることがあります。生徒が中学生時代に身につけるべきマナー・モラルやルールについては、保護者任せにするのではなく、気づいた時点で学校からも指導する必要を感じています。

○毎日、何かは宿題を与えて欲しい。

○家庭学習の取り組み方がわかっていない様子。

→宿題は、教科担任の判断で出すこととしています。たくさん宿題がある日もあれば、時間割によって全く無い日もあるでしょう。中学生ともなると、自分に合った「自主学習」に取り組めなければなりません。「宿題があったらする」、「宿題が無いから何もしない」では困ります。学校でも引き続き自主学習の大切さや取り組み方を説いていきます。

○3 学期の始業式で、全校生を体育館に入れて校歌を歌わせたと聞いた。この時期不適切である。

→生徒間の距離を取るとともにマスクをつけた状態で歌唱させるなど、感染拡大防止の配慮をしながらの実施でした。卒業生が、卒業式で校歌を歌うことの意義を大切にしていたのです。そのステップとしました。昨年の卒業式で、卒業生に最後の校歌を歌わすことなく卒業させてしまった反省が私にあります。独りよがりかもしれませんが、今年はマスク越しであっても校歌を「歌う」ことで、本校で過ごした 3 年間を大切に思ってくれたと信じています。

○子どもが好きで、子どもの成長が楽しみだから教師になったはず。生徒が望むのであれば、勤務時間外や休日だからと言って自分の時間を提供しようとするのは、教師として怠慢である。

○顧問の都合などで部活動の休みが多い。

→教員には、最も大切な仕事である教科指導のほかに、部活動、生徒指導、進路指導、各行事の準備等、様々な業務があります。教職員の超過勤務時間が大きな社会問題となり、勤務時間の短縮を半ば強制されている中であっても、教職員は生徒の成長を願い、日々、精一杯取り組んでいます。少なくとも、勤務時間にこだわって仕事をしようとする教職員は本校には一人もいません。また、教職員にも家庭があり家族がいます。教職員が暮らす地域の一人であり地域に貢献する責任も持っています。教職員個々に、それぞれのプライベートがあるのです。したがって、勤務時間外の多くの時間を生徒の指導に費やす・費やさないで、熱心な先生とそうでない先生という区分けをして欲しくありません。部活動は、「生徒の自主的、自発的な参加により行われるもの」です。顧問と部員がよく話し合って練習計画を立てる必要があります。その話し合いを大切にしていきます。

○課題を提出しない生徒には、声かけや居残りなどをさせて最後までやらせて欲しい。

○全員が自主的に動けるわけではないので、良い意味で差別して指導して欲しい。

○先生の子どもたちへの対応が悪い。えこひいきがすごい。

→生徒を全く同じ基準で指導することもあれば、生徒の実態に応じて個別に指導することがあります。生徒の自主性を伸ばすためにどのように指導をすべきかを、生徒本人や家庭の状況等を含めて総合的に判断して行っています。無条件にすべてを均一に指導することが望ましいこととは限りません。大切なことは、生徒本人の話を聞くとともに、保護者とよく連携を取ることです。

○アンケートに氏名を記入させられると回答しにくい。

→教師と保護者が連携するにあたって、どなたがどのようなご意見をお持ちかを掴む必要があります。また、匿名でしかものが言えない学校にたくありません。互いの信頼が崩れます。

○中学生である生徒に「子ども」は正しい表現か。

→中学生は子どもです（高校生も子どもです）。ただし、大人と同じ人権を有する大切な存在です。

○ホームページでの情報発信が不十分。

○ホームページでもっと学校のことを知りたい。紙ベースより後で見返す時便利だと思う。

○学校からの配布物を見せないで学校の様子や行事予定がわからない。

→学校のホームページは、「生徒の様子」のページと、「学校だより」、「生徒指導通信」、「保健だより」の紹介で月に5～6回程度更新してきました。なお、「学校だより」、「生徒指導通信」、「保健だより」は、広く地域に情報発信すべきものなのでホームページにアップしています。しかし「学年だより」「学級だより」等は、ターゲットを絞ってお伝えする性格のものなので、不特定多数の人が閲覧できるホームページで発信するには馴染みません。したがって、紙ベースのみとしています。お子さんには、学校からの配布物は必ず見せるようご指導いただくとともに、学校のことを直接お尋ねいただくことで、お子さんとの会話のきっかけとしてくだされば幸いです。